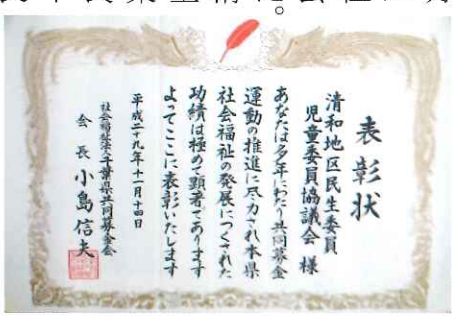
ふれあい清和

発行　清和地区社会福祉協議会
編集　広報委員会
電話　（三七）二六一〇
印刷　写真のサンフォート
（五五）四八六三

千葉県共同募金会　会長表彰状授与

平成二九年十一月十四日（火）、第六七回千葉県社会福祉大会が千葉県文化会館で開催されました。その会において「清和地区民生委員児童委員協議会」が千葉県共同募金会の優良地区・団体として千葉県共同募金会会長表彰状が授与され、清和地区民生委員児童委員協議会の澤田君子会長が代表受賞されました。



第46回君津市社会福祉大会

平成三〇年二月二日（金）君津市民文化ホールにて開催されました。清和地区からは地区福祉協議会役員や民生委員児童委員をはじめ社会福祉に係わる関係者が参加されました。その会において、君津市社会福祉協議会会長表彰がありました。清和地区十年以上の永きに亘り、地域福祉事業への功績が認められ次の七名の皆様が受賞されました。

石井潔さん、石井久子さん、緒形登美子さん、佐久間一郎さん、加藤君江さん真板満恵さん、森和之さんです。受賞おめでとうございます。今後とも引き続きよろしくお願い致します。

また、その会において、平成二九年度福祉標語コンクールの特別賞の表彰状授与がありました。清和地区では、秋元小学校一学年　宇野優花さんが君津市長賞を受賞されました。

○君津市長賞
秋元小一年　宇野優花さん
「げんきかな　たずねていって　おてつだい」

＊宇野優花さんのコメント
鈴木市長さんから賞状をもらえるので、とても楽しみでした。とうじつは、えがおのやさしい市長さんから賞状をもらえて、とてもうれしかったです。賞状をおうちでかざって大じにしています。

○優良賞は、秋元小六年　江藤哲太さん三島小一年　真板大遥さん、三島小五年　図師利恩さん達が受賞されました。おめでとうございます。

秋元小六年　江藤哲太さん
「おじいちゃん　笑顔がとても　すてきだね」

三島小一年　真板大遥さん
「おもいやり　みんながもってる　ぼくのまち」

三島小五年　図師利恩さん
「お手伝い　あなたもできる　だれかのために」

開会行事の後、元ＮＨＫアナウンサー宮川康夫氏の講演がありました。テーマは『どうせ老いるなら　楽しく元気よく』～のど自慢の出会いから～宮川氏が「ＮＨＫのど自慢」の司会として、十二年間、六〇〇回を務め、延べ十五万人との出会いをとおして様々な出来事や福祉への思いを語ってくださいました。

福島県追分町大会では、その頃中国残留孤児の三ヶ月間の一時帰国があり四千人もの町民が温かく迎えお世話したそうです。孤児の娘さんがお礼の気持ちを込めて日本の歌「北国の春」を唄いました。地域の方たちはその娘さんの思いと歌にとても感動したそうです。「たかが歌、されど歌」人の心を捉える歌がここにありました。「情けは人のためならず」ですね。（鶴岡）

いきいき　この人

神子恒一さん（92歳）
平田在住

この度は、平田の神子恒一さんをお訪ねしました。１月の寒さの中でしたが、９２才とは思えぬ元気な姿で迎えて下さいました。

平成２３年に奥様を亡くされ、一人息子さんも職場が君津のため市内にお住まいなので現在は一人暮し。息子さんとは常に電話で連絡しているので心配ないとの事です。「一人住いで不便な事は」との問いに「今は特にないね。買い物はオートバイで”おどや”や”ジョイフルホンダ”にもいけるしね。」食事面では、「もちろん自分で作って食べているけど、幸いな事に月２回の食事サービスのお世話になっていて、毎回美味くてとても楽しみにしている有難たいね。」と満面の笑顔で話しをして下さいました。とにかく元気です。「元気の秘訣は」との問い掛に「毎日暇さえあれば家の近くを３０分位何度でも歩いているよ。食べ物も好き嫌いはないしね。何を食べても美味しい。この頃甘い物が好きになってね何故かなあー。」と不思議そう。私達にも解らない何故でしょう。

散歩に食事に早寝・早起との事、この規則正しい生活習慣こそ毎日を元気で過せる源と納得。神子さんの話はさらに続く中に「若い頃はきつい山仕事や日鉄関連会社の力仕事とそれなりに頑張ったお陰で今こうして元気に過せる有難や有難やだよ。」と懐しそうに話す姿も印象的でした。

神子さんの話をお伺いし、何事にも感謝する心と共に、何よりも健康の大切さを再認識させていただきました。いつまでもお元気で。（岡・澤）

地域で創る 新春ちびっこ大会

一月六日（土）、清和公民館と秋元小学校グラウンドを会場に、清和地区恒例の「新春ちびっこ大会」が開催されました。

最初に、清和公民館ホールで「君津ふるさとかるた」が行われました。三島小と秋元小の子どもたちが、低・中・高学年に分かれ、緊張感のある中で真剣にかるたを取り合う姿が印象的でした。

その後、会場を秋元小学校グラウンドに移して「たこあげ」が行われました。風がほとんどない中でしたが、そんな中でも、たこを高く上げようとグラウンドを全力で走り回る子どもたちの姿が多く見られました。

最後に、清和公民館に戻り、竹馬に乗ったり、こまを回したりして友だちや親子みんなで楽しみました。つきたてのお餅や豚汁は、参加者全員でおいしくいただくことができました。

各家庭や地域でのお正月行事の取組が少なくなってきている現状からすると、本行事はこどもたちにとって、とても貴重な体験の場となりました。日本の伝統的なお正月遊びや餅つき等は、これからも子どもたちにしっかりと伝え、残していきたい大切な活動だと感じます。

本行事を主催してくださいました清和地区青少年相談員連絡協議会や清和公民館の皆様をはじめ、共催・協力してくださいました清和地区社会福祉協議会・清和地区民生委員児童委員協議会・清和青少年育成連絡協議会の皆様、更には運営のお手伝いをしてくれた清和中学校生徒会役員やボランティアの皆様に改めて感謝申し上げます。

（秋元小　大野校長）

役員ボランティア 合同研修会

清和地区社会福祉協議会役員及び協力ボランティアの合同研修会が、昨年の十一月十四日（火）に実施されました。

この研修は会員の資質の向上とグループ間の交流を目的に毎年行っています。

初めに訪れたのは「小石川後楽園」です。ここは江戸時代初期に造られた水戸藩主の大名庭園で、広大な園内には築山・中国風の橋や池、人工的に作られた小川、稲田、滝など変化に富んだ景色が見られました。紅葉の向こうに東京ドームの屋根や高層ビルが見えるなど、東京の真ん中にありながら、静かな庭園で外国人の来訪者も多くいました。

次に訪れたのは「東京国立博物館」です。ここでは『運慶展』の鑑賞です。

今にも雨が降りそうな曇天の下、入館者が多い為入場待ちの列に並びました。いよいよ順番が来て展示会場に入ると見学者でごった返していました。仏像にライトが照らされてはいますが、薄暗い中で各自が思い思いの方向に移動するので、ぶつかることもしばしばでした。

運慶といえば、東大寺の南大門にある筋肉隆々の巨大な「金剛力士像」を、快慶とともに造ったことで有名な、平安時代から鎌倉時代に活躍した大仏師です。

今回は、日本の各地のお寺で所蔵されている運慶の作品三一体中二二体が集結し史上最大の運慶展と言うことでした。

大きいものや小さいもの、全身のものなど様々でしたが、細部まで繊細に造り込まれていて今にも動き出しそうな姿は大迫力で、最初から最後まで圧倒されっぱなしでした。展示されていた仏像の持つ強さとしなやかさに感動しました。

特に仏像好きというわけではないですが、何百年も前にこのようなものを造る技術を持った人がいたという事実に驚きました。

今回は歴史的なことで見聞を広め、有意義な一日となりました。

（髙橋）

ビロティに響きわたる餅つきの音！

餅つきの様子

体験を通した 秋元小の福祉教育

秋元小学校では、各学年の成長に合わせ、様々な体験を通した福祉教育を行っています。

今年度は、九月と十一月の二回にわたり、三・四年生がサニーライフに入居している方々との交流会を行いました。はじめに、入居者の方々に喜んでいただけるように、がんばって練習してきた合唱や合奏を聴いて頂きました。また、お手玉やあやとり、折り紙等の遊びを通して親睦を深め、お話を聞いたり肩たたきなどをしたりして、入居者の方々に喜んでいただけたと思います。お年寄りの方々とお話しするときは、大きな声ではっきりと、そしてゆっくりと話すこと、また動きも人によってペースが違うのでそれぞれに思いやりをもって合わせること等の大切さを学びました。

十月には、清和地区敬老会で、お年寄りの方々に元気を送ろうと、一・二・三年生が、運動会の時に発表したダンスや応援歌などを披露しました。

他にも、社会福祉協議会の方々のご指導を頂き、三・四年生が車いす体験やアイマスク体験を通して、たくさんのことを学びました。これらの体験を是非、これからの生活に活かし、心豊かな清和の子どもとして育っていってほしいと思います。

（秋元小　福祉教育担当　小林教諭）

【サニーライフとの交流】